

北部ケニア干ばつレジリエンス通信（2012年8月号）

今月のトピック: ① 9つのパロットコミュニティに対し、対象部族を配慮して、3つの現地NGOを選定し、再委託契約を締結しました。彼らは今後、CMDRR(Community Managed Disaster Risk Reduction)ワークショップ、各種キャパシテイビルディング活動、各種パロット事業を実施する際の現地パートナーとして活躍して貰う事となります。各NGOは、早速各コミュニティに入り込み、CMDRRワークショップを開催し、住民に対する参加型コミュニティ防災活動を開始しました。② 対象2県における第1回(乾期)地下水水位/水質一斉調査として、各県30カ所・計60カ所での水質サンプリングと地下水水位計測を2週間かけて実施しました。



コミュニティ住民との意見交換会(マルビット中央郡GarQarsa)
 自然資源管理に関する意見聴取に際し、非常に大勢の参加者が集まりました。彼らの水と牧草地への関心の高さが伺えます。



コミュニティ住民との現地踏査(マルビット中央郡GarQarsa)
 コミュニティメンバーと共に、住民が考えているwater pan設置候補地へ行き、既存河川現況/牧草地の植生状況を調査しました。



北部開発省のプロジェクト実施ユニットとの協議会(ケンヤ本省)
 同じユニットは、北部省が管轄する他パートナーの援助事業を統括/監理する部署。彼らに事業内容を説明し、意見交換を行いました。



地下水水位および水質にかかる水源モニタリング調査
 第1回の一斉水位観測&水質サンプリング調査を対象2県の計60カ所の既存井戸で実施しました。写真は水位計測の様子。



CMDRRワークショップ 風景(マルビット中央郡Dirib Gombo)
 NGOと協力し、各コミュニティにおいて、CMDRRワークショップを開始しました。対象コミュニティの主要メンバーが参加し、干ばつへの対応策、将来の村の干ばつ対応計画、などについて活発な意見交換が行われております。右下写真は彼ら作成のリーマップ。



CMDRRワークショップ 風景(マルビット南郡Arapal)
 同じ活動では、時にはグループに分かれて作業を行い、村の現状、干ばつ脆弱性/対応能力等について、住民自らが協議/議論する機会も多々あります。Arapal村では、リンディ族の戦士や若い女性も積極的に参加し、活発な議論が展開されています。